2027年度　みずほ国際交流奨学財団

標記財団からの推薦依頼に基づき、以下のとおり、募集します。応募に際しては必ず、募集要項等で詳細を確認してください。

応募資格	(1) 財団が提示する応募資格を全て満たすこと（詳細は募集要項参照）。 対象(抜粋)：原則として2027年10月から2年以上明治大学に在籍すること。 また、他の民間奨学金との併給は認められません。本学部の奨学金・支援金・学費減免および公的な助成金は、原則として併給可能です。 (2) 在留資格が「留学」であること（あるいは「留学」へ変更申請中であること）。 (3) 応募時に休学、原級、在籍原級または留籍しておらず、受給年度においても休学、原級、在籍原級または留籍する予定がないこと。ただし、成績不良によらない休学（例：兵役休学）に伴う原級、在籍原級または留籍の場合は応募を認める。 (4) 応募当該年度に懲戒処分を受けていないこと。 (5) 直近のGPAが、学部生で2.7以上、大学院生で3.5以上（会計専門職研究科学生のみ2.5以上）であること。ただし、新入生でGPAが算出できない場合、GPAの要件はありません。
推薦者数	**3名（最小2名）** 学内選考の結果、適格者が1名のみの場合は推薦されません。 また、財団からの要件により国籍による選考が行われる場合があります。
学内締切 **（厳守）**	**2027年4月22日（木）17：00** 事務室への提出（郵送不可）を上記期限までに行ってください。 ※財団の「募集要項」に記載された応募締切日ではなく、上記の学内締切を厳守してください。
提出書類	募集要項の「5. 応募方法」もご確認のうえ、次の書類をご提出ください。 ①　奨学金申込書【所定様式】　※顔写真はデータ上で添付しても問題ありません。 ②　推薦状【所定様式】　※ご自身で担当教授などの先生に作成を依頼してください。 ※学校長が作成する「推薦書」については、学内選考の結果採用が決定した学生に対して、大学が作成します。 申請時には、担当教授が作成する「推薦状」のみを用意してください。 ④　成績証明書のコピー ※2027年4月に学部に入学する学生は、提出不要です。 ※2027年4月に修士課程に入学する学生は、学部のものを提出してください。 ※2027年4月に博士課程に入学する学生は、修士課程のものを提出してください。 ⑤　父母両方（無職および無収入も含む）の所得証明書類 ・提出可能な直近の年収が確認できるもの。 ・日本の源泉徴収票又は確定申告書に相当するもの。 ・日本語または英語以外の言語で作成された書類については、日本語または英語の翻訳を添付すること。 ⑥　経済的支援の受給／申請状況申告書【所定様式】 **【学内選考の結果、財団へのが決定した場合に提出する書類】** ③明治大学の在学証明書 **提出期日などは、学内選考通過者に案内しますので、速やかに提出できるように準備してください。**
提出先	**国際教育事務室(駿河台/和泉/生田/中野)**　**※中野の提出は月、水、金のみとなります点ご注意ください。**
注意事項	(1) 応募に際しては必ず、財団の「募集要項」でも詳細を確認してください。 (2) 本人以外の応募書類の提出は認めません。 (3) 修正液や二重線による修正は一切行わないでください。 (4) 一度提出された書類は返却しません。
個人情報の取り扱いについて	明治大学は、「学校法人明治大学個人情報保護方針」ならびに本学「個人情報の保護に関する規程」に基づき、日本学生支援機構奨学金、学内奨学金、その他の学外奨学金の申請者及び保護者等関係者の個人情報（学籍異動・成績情報を含む）を奨学金業務を適切に遂行する目的以外には使用しません。また、個人情報提供先については、法令に遵守した形で行い、これらの目的以外に個人情報を利用しないことを約束します。
お問い合わせ	明治大学　国際教育事務室　財団奨学金担当（03-3296-4488）isupport@meiji.ac.jp

２０２７年度外国人奨学生募集要項
APPLICANT GUIDELINES
FOR THE 2027 FOREIGN STUDENT SCHOLARSHIP PROGRAM

公益財団法人みずほ国際交流奨学財団
Mizuho International Foundation

わが国の大学において勉学、もしくは研究を行なっている学業、人物ともに優秀、健康な外国人留学生で、かつ特に経済的援助が必要と認められる者に対して、下記の要項により奨学援助を行います。

Under the following terms and requirements, the Foundation will provide scholarships for excellent students from overseas who attend universities or colleges in Japan and are considered to be in need of economic assistance.

記

１．当財団が求める人物像
Profile of Candidates Sought by the Foundation

① 将来、ビジネス、公共政策、学術研究などの場でグローバルに活躍したいとの強い希望を持つ者
Persons with a strong desire to play an active role on the global stage in fields such as business, public policy, or academic research.

② 学業面で優秀な者
Persons with excellent academic records.

③ 社会への貢献意識が高い者
Persons with a strong commitment to contributing to society.

④ 優れたコミュニケーション能力を持ち、奨学生ＯＢや将来の奨学生との交流の機会に積極的に参加する意志がある者
Persons with excellent communication skills who are willing to actively participate in opportunities for interaction with scholarship alumni and future scholarship recipients.

２．応募資格（以下の資格すべてに該当する見込みであること：2027年10月時点）
Qualifications (Recipients of the scholarship must meet each of the following conditions as of October, 2027)

① 外国の国籍を有する者。
Students of foreign nationality
わが国の大学学部に在籍する正規学生、大学院正規学生もしくは同課程相当の研究に従事する研究生である者。
Regular students of a university or college department, graduate students taking the proper courses, or research students engaged in studies equivalent to the graduate level.
② 本法人奨学生となった場合、他の奨学金を受けないこと。
Persons who do not receive scholarships from any other private organizations.
③ 在留資格“留学”の者。
Persons who have a student visa.
④ 心身の状態が安定し、留学をやりとげる意志がある者
Persons who are in a stable mental and physical condition and possess the determination to complete the study abroad program.
⑤ 国際理解と親善に関心を持ち、貢献を期する者。
Persons who are interested in international understanding and friendly relations and who are determined to contribute to society.

３．採用人員
Number of Scholarship Recipients

全体で３０名程度。
(各大学からは、３名の学長推薦を受けた者の中から原則として１名を採用)
About 30 scholars (As a rule, we select over 1 scholar from among 3 candidates recommended by 1 university or 1 college.)

４．奨学金の額と支給の方法
Scholarship Payment (Grant)

① 奨学金の支給額　　月額　２００，０００円
Amount: A monthly allowance of ￥２００，０００
② 支給期間　　２０２７年１０月から、最長２年間
(推薦を受ける大学に同期間在籍し、国内の同大学に就学することが条件。)
Period: 2 years from October, 2027 (must be registered without interruption for a minimum of 2 years at the recommending university or college、and also study in Japan.)
③ 奨学金の支給方法　　原則として３ヶ月分を３ヶ月毎に年４回支給
Payment Method: Every 3 months, 4 times a year.
(October, January, April and July)

５．応募方法
Application Method

以下の書類を所属大学長（事務局）宛提出のこと
Applicants should submit the following documents to the president or the section concerned of the university where they are registered.

① 奨学金申込書（所定の用紙を使用のこと）
Application form (form prepared by the Foundation).
② 推薦状（同上）・推薦書（同上）
A letter of recommendation from both the president and the professor in charge (form prepared by the Foundation).
③ 在学証明書
A certificate of student registration.
④ 成績証明書（コピー可）
College/university transcript.

５．応募期間
Application Period

２０２７年１月１２日（火）から２０２７年５月７日（金）まで
From January 12th, 2027 to May 7th, 2027

６．選考及び決定
Selection of Scholars

所属大学長から推薦があった者について、当財団の選考委員会において書類審査を行ない、書類審査合格者に対して、面接審査の上、最終決定する。
採否の結果については、在学する大学長を通じて本人に書面で通知する。
Scholars who are recommended by universities will first be subject to a screening of the application documents. Successful candidates will then have an interview with the Selection Committee of the Foundation. A final determination will be made after conclusion of the interviews, and a written notification of the result will be sent to each student via the university that the student is now attending.

７．奨学金支給の停止
Suspension of Scholarship Payment

① 病気その他の事由により勉学または研究を継続する見込みのない場合。
In the case where the student has no prospect of continuing his or her study due

to illness or other personal reason.

② 学業成績不良の場合。
In the case of poor scholastic or research performance.

③ 勉学または研究の指導者から、勉学または研究の継続に不適格とみなされた場合。
In the case where the supervising professor considers it inappropriate for the student to continue his or her study.

④ 素行不良、その他、本法人の奨学生として適性を欠く者と認められる場合。
In the case where the student's conduct is unacceptable, or is regarded as inappropriate for a scholar by the Foundation due to other reasons.

⑤ 在籍する大学から、他の大学等へ転校・転籍した場合
In the case when the student changes the university to another university.

８．届出義務
Duty to Report Incidents

奨学生は以下の１つ以上に該当する事情が生じた時は、当財団に届出あるいは報告をしなければならない。（①、②は様式適宜）
When a situation that corresponds to at least one of the following cases arises, the scholarship recipient must report the situation to the Foundation as soon as possible:

① 何らかの理由により休学、転学、退学することになったとき
Absence, transfer or withdrawal from the school for any reason.

② 何らかの理由により他の奨学機関から給付を受けるため申請手続きを行う場合あるいは他の奨学機関から給付を受けることになったとき
When a student will apply for a scholarship from another organization for any reason, or will receive a scholarship from another organization.

③ 日本を離れ、帰国または他国へ旅行する時は「帰国・外国旅行届」を事前に届出ること。
A student must submit the "Notification of Home Leave or Travel Abroad" beforehand when the student will leave Japan for home country or other countries.

④ 四半期報告“「私の今」について”を遅滞なく報告すること。
A student must submit the quarterly report "Watashi no Ima" to the Foundation without delay.

⑤ その他、提出済の奨学生申請書類の記載事項に変更や異動が生じたとき、「変更事項等通知表」を遅滞なく届け出ること。
In other cases where an alteration or change has occurred in the statements that the scholar entered in the original application forms, a student must report to Foundation without delay.

９．その他

Other Matters

提出された応募書類は返却しない。

Application documents submitted will not be returned.

１０．照会先

Inquiries

公益財団法人　みずほ国際交流奨学財団　事務局

Mizuho International Foundation

住所：東京都千代田区丸の内1-6-1（〒100-0005）

6-1 Marunouchi, 1-Chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0005

ＴＥＬ：　03-5288-5906

ＦＡＸ：　03-5288-3134

Ｅ－ｍａｉｌ：fbifyume@nifty.com

みずほ国際交流奨学財団
2027 年度外国人留学生奨学金申込書

（記入例）

記入日（西暦）2026年5月1日

フリガナ　ミズホ　タロウ 氏　名　瑞穂　太郎 英文名　TARO　MIZUHO	生年月日 2002 年 4月 5 日 （年齢24 歳） （男）・ 女 ・ 答えない） 国籍　インドネシア	顔写真 貼付 4cm×3cm カラー （1年以内に撮影の） （デジタル添付可）

〒 100-0005
現住所　東京都千代田区丸の内1－6－1
TEL：03－5288－5906　FAX：03－5288－3134
E-mail：fbifyume@nifty.com

在籍大学
みずほ 大学　経済学部　経営学科　2学年在学
（西暦 2024 年 10 月入学 ～2028 年 9 月卒業予定

（大学院の場合）
みずほ大学 大学院　国際公共政策 研究科　（修士課程）・博士課程・研究生　1 学年在学
（西暦 2026 年 4 月入学 ～2028 年 3 月卒業予定））

研究テーマ：　各国の行政府における国際公共政策の相違について

指導教官名　大和　路雄　教授

学歴・職歴等（出身高校/出身大学・学部名・専攻/職歴等を記入。日本への入国時期、入国後から現在までも記入。）

2020年 3月	ABC 州 DEF 高校 卒業 （インドネシア ジャカルタ市）
2020年 4月	EFG 大学 法学部入学 （インドネシア ジャカルタ市）
2024年 3月	EFG 大学 法学部（私法課程） 卒業
2024年 4月	HIJ 法律事務所 就職 （法律事務アシスタント） （インドネシアジャカルタ市）
2025年 10月	同 退職
2025年 1月	日本に入国
2025年 4月	大和外語学院日本語コース 入学 （東京都豊島区）
2026年 3月	同 卒業
2026年 4月	みずほ大学大学院 国際公共政策研究科 修士課程入学
	現在に至る

日本に留学することを決意した経緯、留学の目的

① 日本に興味・関心を持ったきっかけ、経緯、
② 母国での日本（言語・文化など）についての履修状況、
③ 日本に留学して学びたいと思ったこと

等について、詳細に記入してください

日本語の学習歴

学習機関名： 大和外語学院　　所在地： 東京都豊島区池袋１－２－３

学習期間： 2025 年 4 月 ～ 2026 年 3 月まで（合計 1 年 0 月）

日本語の能力（自己評価）： 日常会話ができる　　（日本語能力検定試験 1 級 ）

母国住所： ジャカルタ市〇〇△△１－２－３

家族状況

家族氏名	続柄	年齢	現住所	勤務先/在学校
瑞穂 富士夫	父	50	同上	〇〇会社営業部
瑞穂 花子	母	48	同上	△△会社経理部
瑞穂 一郎	兄	30	ジャカルタ市〇〇△△	ジャカルタ市交通局
瑞穂 三郎	弟	20	ジャカルタ市◇◇〇〇	インドネシア大学工学部

緊急時の連絡先（国内）

氏名	住所	電話
山本 和雄	神奈川県横浜市〇〇区△△町１－５－６	044-〇〇〇－△△
関係	職業	E-mail
友人	〇〇建設株式会社 営業部	abcd@docomo.ne.jp

経済状況

1. 1ヶ月の平均収入額　60, 000 円(①～⑤の合計) 選考過程で収入の証跡を求めることがあります。

内訳

①仕送り額(月額)　10, 000 円 (仕送り者の続柄:　父　職業:　会社員　年収:　300万円)

②本人の収入額(月額) 20, 000 円 (アルバイトの収入　月額20, 000 円 (職種:コンビニ店員　週3日　)

④　奨学金(月額)　20, 000 円(名称:　〇〇育英基金　)

受給期間:　2024 年 4 月～ 2024 年 9月)

④その他収入額　月額　10, 000 円(内訳:　TA　指導教官のアシスタント　)

⑤配偶者(いる場合)の収入額　月額　65, 000　円(内訳:　JASSO奨学金　2016年4月～2年間)

2. 1ヶ月の平均支出額　60, 000 円

内訳

①家賃　月額　30, 000　円 (住居形態:　借アパート　広さ:　25 ㎡　)

②食費　月額　15, 000　円

③その他(交通費、通信費等の経費を具体的に記入)

月額　15, 000　円 (内訳:交通費　5, 000円、 図書費5, 000円、光熱費5, 000円　)

3. 経済状況について、特に強調したいことがあれば、記入のこと。

(なぜ、奨学金が必要かについて、ご実家の経済状況や、日頃の生活状況等について記入してください)

授業料等の状況

1. 授業料　年額　535, 800　円

2. その他 (大学所定の納付金等) 年額　100, 000　円

3. 授業料の減免(該当するものに〇印を付すこと)

①受けている(全額、半額、　%)

②受けていない

③申請している(全額、半額　%)

4. 授業料等の納付方法(該当するものに〇印を付し、授業料等の金額と一致すること)

①全額仕送り:授業料等仕送り額(年額) 635, 800 円(仕送り者との続柄:　父　職業:　会社員　)

②一部仕送り:授業料等仕送り額(年額)　円(仕送り者との続柄:　職業:　)

③全額自己負担:自己負担額(年額)　円

④一部自己負担:自己負担額(年額)　円

他の奨学団体等への応募状況(該当するものに〇印を付すこと)

①応募していない

②応募している(応募中、応募予定)　※②の場合は、次の各項目を記入のこと

団体名:　月額:　円、 採用決定時期　年　月　日

受給期間(西暦)　年　月　～　年　月

将来の計画 ： 日本もしくは母国、その他の国での進学または就職（職種）の希望・予定など

① 現在、日本の大学で学んでいることが自分の将来にとってどのように役に立つのか、
② 卒業後は、どこの国（日本あるいは母国など）で、どのような組織（大学・企業・国際団体など）に就職し、どのような仕事がしたいのか、
③ 特に国際交流の観点からは、この留学がどのように役に立つのか

等について記入してください

母国の連絡先

氏名	続柄	住所	電話
瑞穂　富士夫	父	インドネシアジャカルタ市〇〇△△	〇〇—△△△△

自己紹介 ： 自分の性格、趣味、特技、当財団に応募する理由など

① 自分の性格（長所など）・趣味、特技など、自己アピールすべき点について記入してください
② どこでこの財団のことを知り、なぜこの財団の奨学金に応募したのか、その理由を記入してください

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、2027度貴法人の奨学生募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として選考していただきたく申請いたします。

公益財団法人　みずほ国際交流奨学財団

理事長　殿

申請年月日　2026 年 5 月 1 日

申請者署名　瑞穂　太郎（サイン）